

# Mitaka みんなの防災 だより

Vol.  
07

2025年7月発行

## CONTENTS

- 01 令和6年度事業報告
- 02 令和7年度事業計画
- 03 視察研修レポート

- 04 補助金・助成金のご案内
- 05 三鷹市防災ニュース
- 06 会員募集



Mitakaみんなの防災だよりとは

NPO法人Mitakaみんなの防災が定期的に発行する会員向け情報提供のお便りです。

## 01 令和6年度 事業報告

令和6年度に実施した事業の一部をご紹介します。詳しい事業報告はホームページに掲載しています。▶



### 防災意識啓発事業

より多くの方に「防災」に触れてもらえるよう啓発活動を積極的に行いました。

#### ▶ Mitakaみんなの防災フェスタ開催

来場者数 3,200名

参加団体 56団体



Mitakaみんなの防災フェスタ  
ステージショーの様子

#### ▶ 防災出前講座の実施

実施回数 79回 受講人数 2,053名

#### ▶ 市立小中学校防災教育の推進



防災授業の様子

市内小中学校で防災授業を行いました。

実施回数 18回

受講人数 2,955名

### 防災リーダー等人財育成事業



地図を使って話し合う受講者

発災から30年を迎えた阪神・淡路大震災の教訓について改めて学ぶとともに、Disaster Imagination Game (災害シミュレーションゲーム)を通して首都直下地震への備えについて考えました。

### 防災活動団体交流支援事業

「キャンプ」や「ペット」をテーマとした交流事業を実施しました。



防災キャンプ教室



わんわんBOUSAI教室

### 防災活動団体活動支援事業

三鷹市総合防災訓練をはじめ、市内で活動する団体と協力連携し、防災事業を行いました。



総合防災訓練の様子



小学校防災キャンプでの一コマ

協力連携 15件

参加人数 4,068名

### 防災活動事例・調査研究事業



津田沼奏の杜エリアにて、大規模マンションにおける防災まちづくり、防災対策、防災訓練に関する視察研修を実施しました。

## 防災活動事例・調査研究事業

- 全国の先進的な防災活動の事例調査・紹介
- 各種防災活動に関する補助金・助成金の調査・紹介



## 防災リーダー等人財育成事業

- 防災リーダー養成講座の実施

## 防災意識啓発事業

- 防災啓発イベントの実施
- 安否確認用黄色いタスキの普及啓発
- 防災出前講座の実施
- 市立小中学校における防災教育の推進

### 「ぼうさいの先生」養成事業

防災授業を担える人財を育成し、将来的に学校現場に派遣できる体制を整備します。



## 災害時の応急対策支援事業

- 防災NPO法人として活動の検討

# 02 令和7年度 事業計画

共助の森をつくろう。

- 防災イベント等を契機とした防災ネットワーク化

## 防災ネットワーク化推進事業



## 防災活動団体交流支援事業

- 仲介・コーディネート
- 交流会の実施



## 防災活動団体活動支援事業

- 防災事業への支援

### 外国籍市民への防災啓発支援

三鷹市が発行する外国籍市民向けの防災ガイドブック作成に協力します。



実施報告はHPやSNS、ニュースレターなどでご報告いたします。

- 人財バンクリストの作成
- HP及びSNSの運用
- ニュースレターの発行
- 相談窓口業務

## 情報の収集・提供、相談事業



令和6年度につづき、法人の活動内容の周知を図りつつ、市民の皆さまの防災意識の向上を図る事業を中心に事業を展開していきます。

なお、令和7年度は、新たに作成した『みたか防災教育カリキュラム』をもとに、より一層の防災教育の推進を図るとともに、防災授業を担う「ぼうさいの先生」養成講座を開始いたします。また、外国籍市民への防災啓発支援として市が発行する防災ガイドブックの作成に協力します。

# 03 視察研修レポート

## 東京消防庁第八消防方面本部

東京消防庁第八消防方面本部（以下「第八方面本部」。）は、立川広域防災基地内に配置され、多摩地域のうち三鷹、武蔵野、調布など15の管内消防署を管轄しています。本庁と消防署、消防署相互間の各種消防事務に関する調整、指導など消防業務の円滑な推進に取り組んでいるほか、方面内で発生した一定規模以上の火災や救急・救助事象などの災害に出場し、部隊の指揮活動や指揮支援を行っています。また第八方面本部には、消防救助機動部隊（通称：ハイパーレスキュー）が配置されており、震災等の大規模災害やNBC災害（※NBC災害＝核、生物、化学、放射性物質による災害のこと。）など、あらゆる災害にマルチに対応できる部隊として、大型重機や遠距離大量送水装備、高度救助資器材、NBC災害に対応するための各種防護装備などを備えています。

この消防救助機動部隊ですが、平成7年1月17日に発生した阪神・淡路大震災により、建物の倒壊や座屈といった通常の消防隊や特別救助隊では対応困難な状況が課題となった教訓を踏まえて、震災及び大規模・特異災害に対応するため、専門的な知識・技術、重機や人命探査装置といった高度な救助資器材を有する部隊として平成8年12月17日に発足されました。

今回は、第八方面本部の概要について説明を受けたのち、これまでの自然災害における消防救助機動部隊の活動映像を拝見し、改めて私たちの命と財産を守るために、日々、切磋琢磨されている姿に、思わず背筋が伸びる思いでした。

隊員には専門的な知識と技術、特殊な環境下で活動するための強靱な体力と精神力、更には臨機応変な対応力が求められ、各隊が保有する専門的知識・技術を結集させて、最大限の機動力を発揮し、火災や救助活動、震災等の大規模災害、NBC災害などの各種災害に対応しているとのことで、改めて隊員の皆様に心から敬意を表する次第です。

### たくさんの特特殊車両を見せてもらいました

特殊災害対策車



無人走行放水車



除染車



震災対策用車両



屈折放水塔車



重機搬送車



訓練施設も見学しました



令和7年7月7日（月）、立川市にある東京消防庁第八消防方面本部及び東京消防庁立川都民防災教育センター（立川防災館）ほかを訪問し、施設見学と体験を行いました。

## 立川防災館・救出救助体験

立川防災館は防災体験施設として地震、火災などに備えるための知識や技術を学ぶことができる施設です。

今回の視察研修では、説明員の方から令和6年能登半島地震における救命活動等の説明や自助と共助の重要性などの説明を受けたのち、家具転倒防止器具の使用の有無を比較した家具の倒れ方展示を見学しました。

その後、地震により倒壊した木造住宅をリアルに再現した空間において、要救助者の捜索から救出までの一連の行動を体験しました。倒壊した家屋に閉じ込められた男性の声をたよりに居場所を特定し、屋根を切断して救助するまでを体験しました。



救出救助体験の様子

このほかにも「防災ミニシアター」や「煙体験室」、「VR防災体験コーナー」など様々な知識と技術を学ぶことができます。

### 「立川防災館」見学のご案内

住所： 東京都立川市泉町1156番地の1  
 開館時間： 午前9時～午後5時  
 休館日： 毎週木曜日、第3金曜日（国民の祝日にあたる場合はその直後の平日）及び12月29日～1月3日



※ なお、曜日に関わらず次の日は開館します。  
 9月1日（防災の日）、10月1日（都民の日）、  
 1月17日（防災とボランティアの日）  
 ※ 体験コーナーは要予約

## 玉川上水・立川断層交差点見学

「玉川上水・立川断層交差点（立川市砂川町3丁目17番付近～同4丁目23番付近）」は、移動するバスの車内から見学しました。

立川断層は、埼玉県南西部から東京都青梅市、立川市を経て、府中市付近に至る断層帯で、全体の長さは約30キロで、過去に地震を繰り返してきた断層です。

そして玉川上水（以下「上水」。）は、江戸時代に深刻な水不足に悩む江戸庶民の飲料水等の確保を目的として整備されたものですが、この上水の工事に立ちはだかったのが、立川断層でした。上水のコースは綿密な地形測量に基づいたもので、高低差のある大地を巧みに乗り移りながら多摩川の羽村の堰付近から江戸へと向かっています。ところが立川市砂川町のあたりではそれまでまっすぐだった上水の流れが200mほど南に湾曲しており、これは行く手を阻む立川断層の小さな崖を無理なく乗り越えていくためにとられた工法でした。

当日、私たちが乗車するバスが、玉川上水に沿って通る道路を通行した際、ちょうど玉川上水が立川断層帯付近を通過する付近で、上水に沿って道も南側に曲がり、すぐにまた北側に戻っている様子をバスの中から目視でき、私たちも立川断層を跨いでいることを実感できました。

## 04 補助金・助成金のご案内

### 町会・マンション みんなで防災訓練



助成限度額20万円（助成率：10/10）

東京都は、合同防災訓練等を通じた町会・自治会とマンションのつながりの構築・強化を効果的に図るため、町会・自治会が近隣のマンション等と合同で開催する防災訓練の打合せから振り返りまでを支援しています。

また「町会・マンションみんなで防災訓練」を申請される町会・自治会は、合わせて合同防災訓練で用いる防災資機材の助成を受けることができます。



### 町会・自治会 防災備蓄倉庫設置等助成



助成限度額70万円（助成率：10/10）

東京都では、町会・自治会において、防災備蓄倉庫の設置及び修繕等に係る経費を助成しています。

### 東京都 地域の底力発展事業助成



助成限度額20万円（単一町会の場合）

東京都では、地域の活動の担い手である町会・自治会が主催して行う地域の課題を解決するための取組を支援するため、事業助成を行っています。住民の交流につながるお祭りや防災訓練などに活用いただけます。

## 井口つばき児童遊園がリニューアル！

ほくも行ってきたよ！



井口つばき児童遊園は、井口グラウンドの整備とともに拡張整備され、様々な防災機能を備えてリニューアルオープンしました！

「災害時在宅生活支援施設」として整備され、災害時の在宅生活を支援するための資機材などを保管する防災倉庫やかまどベンチなどが設置されました。

お近くにお越しの際はぜひお立ち寄りください。

【住所】

三鷹市井口一丁目7番39号



## 05

三鷹市防災ニュース

### ♡じじよまる遊具が増えました♡

三鷹市防災キャラクター「じじよまる」のロッキング遊具が子どもたちに大人気です！

今年度、新たに3つの公園に新設され、市内各所に「じじよまる」遊具が設置されました。

【設置場所】

- 三鷹中央防災公園
- 下連雀きたうら児童公園
- 北野いこい児童遊園
- 水源の森あけぼのふれあい公園
- 東野児童公園
- 連雀中央公園

ウインクしている「じじよまる」遊具もありますよ！

ほくも  
お気に入り



## 06 会員募集



Mitakaみんなの防災では、自助と共助のまちづくりに向けて一緒に活動してくれる方を募集しています！

【会費】 正会員／5,000円 賛助会員／1口1,000円から

会員の皆様からいただいた会費は、当団体の目的を果たすための事業等に使用させていただきます。

Mitakaみんなの防災の活動にご賛同いただき、ご支援いただいている賛助会員の皆さまをご紹介します



- 三鷹武蔵境通り法務行政書士事務所 様
- 株式会社ジェイコム東京 武蔵野・三鷹局 様
- 三消会 様

(順不同)

